

予算要求課	基盤整備部 駅周辺整備課	内線 2313
-------	--------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	2	土地区画整理費
事業名	74200 駅周辺土地区画整理事業費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		1,210,854	316,464	△ 894,390	287,264	移転補償・工事施工箇所の減 複合施設建設の見直し	287,264	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金	145,872	15,290	△ 130,582	8,690		8,690	
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他	916,600	301,100	△ 615,500	254,700		254,700	
一般財源	148,382	74	△ 148,308	23,874	23,874			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
高山駅周辺において都市計画道路や駅前広場、健康増進機能を有する総合交流センターなどの公共施設の整備、商業・業務施設の拠点的な整備、良好な住環境の整備など飛驒の玄関口としてふさわしい拠点の形成をすすめる。			
事業実施の課題			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 駅舎・自由通路に対するJRとの調整に時間を要し、土地区画整理事業の進捗に遅れが出ている。 ・ 高山駅西地区に建設予定の複合施設(総合交流センター・多目的広場・駐車場)の事業内容の再検討。 ・ 国の補助を受けているため、国の動向により事業進捗に影響を受ける。 			
事業概要			
高山駅周辺土地区画整理事業の施行により、公共施設を整備し、宅地の利用増進を図る。			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
土地区画整理事業の進捗状況	約66%	約70%	約72%
成果			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 交通結節点としての機能の充実、及び当市の情報の発信 ・ 市民等のコミュニティ活動、交流の場の創出、及び中心市街地の活性化 ・ バリアフリーに配慮された便利で快適な空間の創出 			
要求額増減理由			
移転補償・工事施工箇所の減 (高山駅西地区に建設予定の複合施設建設の休止など)			

①総合計画		
(1) 計画的な土地利用をめざして		
土地利用		
(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る		
② 市街地区域の土地利用		
②実施計画・中期財政計画		
1 計画的な土地利用をめざして		
(1) 土地利用		
ハード		
高山駅周辺土地区画整理事業、高山駅周辺駐車場等整備事業		
③事業評価		
事業名	高山駅周辺土地区画整理事業	今後の方向性
評価区分	Ⅲ	本事業は高山駅周辺を利用するすべての人にとって波及効果があり、市域全体の秩序ある発展のために必要な事業である。 アンダーパスの開通により、駅東西の一体化が図られ、事業効果が現れてきたところであるが、早期の完成を目指し、計画している工程及びコストで事業を実施できるよう関係機関との協議を更に進めていく必要がある。
コスト・成果ポジション	コスト 高 成果 高	
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要	
④市長の約束		
4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます。 高山駅西地区に建設予定の複合施設(総合交流センター・多目的広場・駐車場)については、市民の議論を深めるため一時計画を休止し、事業内容の再検討を行います。		

予算要求課	基盤整備部 駅周辺整備課	内線 2313
-------	--------------	---------

金額の単位は、千円

款	7	土木費	項	4	都市計画費	目	2	土地区画整理費
事業名	74250 土地区画整理推進事務費							

新規	継続	拡大	縮小
	○		

事業費(人件費除く)		H22当初予算額	H23要求額	増減	財務部査定額	査定の考え方	市長査定額	査定の考え方
歳出		637	1,247	610	506	駅西複合施設の検討委員会については、今後の実施方法等を検討中のため予算計上しない 事務費については縮小	506	財務部査定どおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	起債			0				
	その他			0				
	一般財源	637	1,247	610	506			

以下は予算要求時の内容

事業の目的			
駅周辺土地区画整理事業を推進する。			
事業実施の課題			
高山駅西地区に建設予定の複合施設(総合交流センター・多目的広場・駐車場)の市民の議論を深めること、及び事業内容の再検討の実施。			
事業概要			
土地区画整理事業の事務、審議会及び協議会、検討委員会等の開催			
計画・実績・見込	H21実績	H22見込	H23計画
土地区画整理審議会等の開催		2	2
まちづくり協議会の開催	2	2	2
検討委員会の開催			3
ワークショップの開催			5
成果			
駅周辺土地区画整理事業の推進			
要求額増減理由			
駅西複合施設の検討委員会等の開催費用を計上したため。			

①総合計画			
(1) 計画的な土地利用をめざして			
土地利用			
(1) 住みよい生活環境の実現と市域全体の秩序ある発展を図る			
② 市街化区域の土地利用			
②実施計画・中期財政計画			
1 計画的な土地利用をめざして			
(1) 土地利用			
ハード			
高山駅周辺土地区画整理事業、高山駅周辺駐車場等整備事業			
③事業評価			
事業名	高山駅周辺土地区画整理事業	今後の方向性	
評価区分	Ⅲ	本事業は高山駅周辺を利用するすべての人にとって波及効果があり、市域全体の秩序ある発展のために必要な事業である。 アンダーパスの開通により、駅東西の一体化が図られ、事業効果が現れてきたところであるが、早期の完成を目指し、計画している工程及びコストで事業を実施できるよう関係機関との協議を更に進めていく必要がある。	
コスト・成果ポジション	コスト 高		成果 高
実施方針	「Ⅱ」以上の水準に向けた改善が必要		
④市長の約束			
4 個人・家庭・地域を大切に作る社会を築きます。 高山駅西地区に建設予定の複合施設(総合交流センター・多目的広場・駐車場)については、市民の議論を深めるため一時計画を休止し、事業内容の再検討を行います。			